

2016年2月期

株式会社ジーフット

決算説明会

2016年4月13日

営業成績について

- 売上総利益率は47.4%で前期比1.4ポイント改善
- 営業収益、営業利益、当期純利益は前年並
- 新規出店により販管費は17億円増

単位:百万円

	16/2月期	前年比	前年差	営業収益比	前年差	公表差
営業収益	103,933	100.4%	466	-	-	△3,566
売上総利益	49,270	103.6%	1,707	47.4%	1.4	-
営業利益	5,515	100.1%	8	5.3%	0.0	△584
経常利益	5,473	100.2%	8	5.3%	0.0	△576
当期純利益	2,814	100.5%	14	2.7%	0.0	△335
1株当たり当期純利益	67.17円/株	-	0.08円減	-	-	-

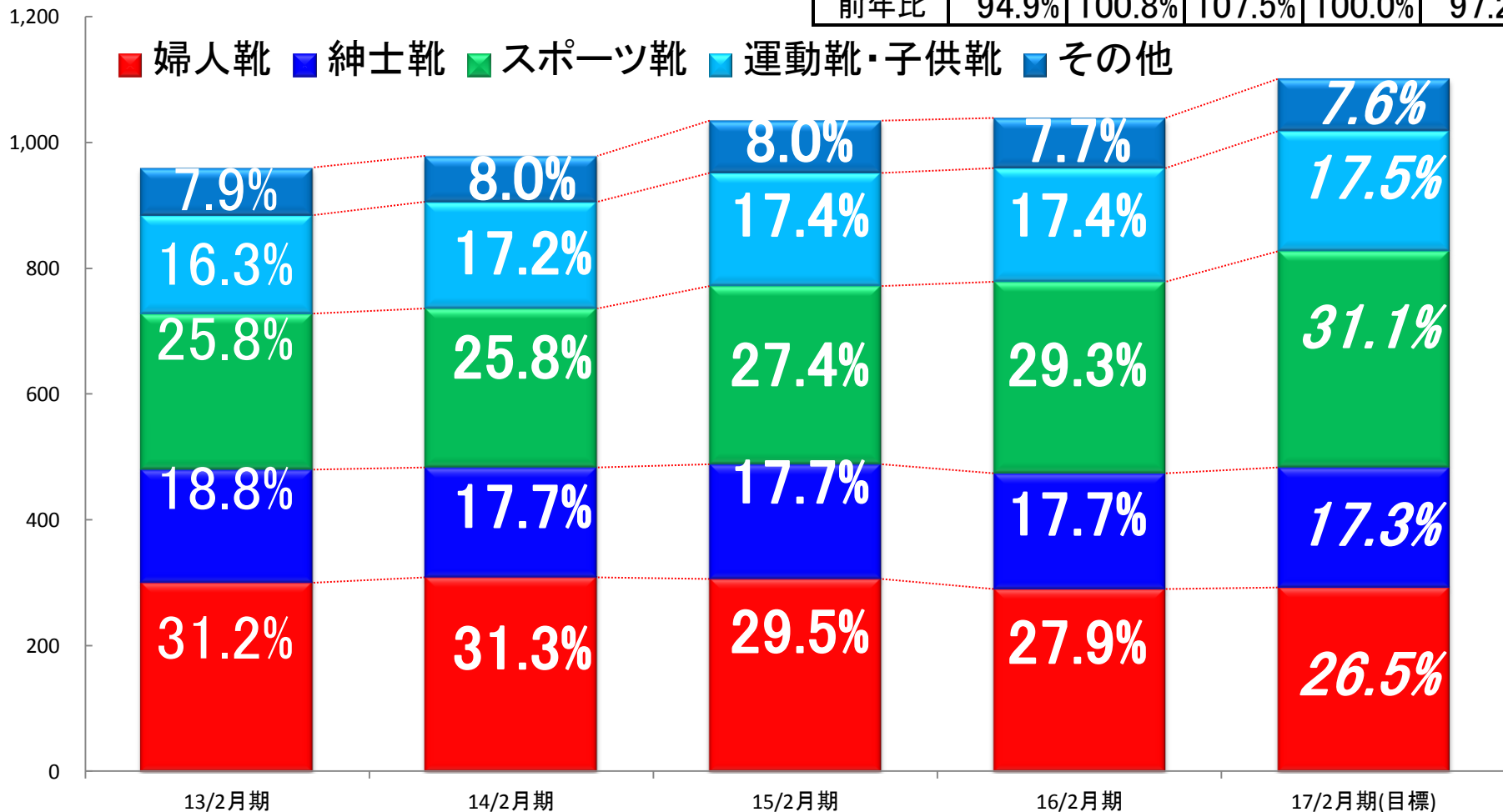
当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。また、平成27年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定し比較しております。

内実強化	利益率の改善	売上総利益率は、1.4ポイント増の前期46.0%から47.4%へ
	財務内容の改善	長期借入金 前期比14億40百万円減少 有利子負債 前期比34億40百万円減少 営業キャッシュフロー50億34百万円、前期比72億37百万円改善 自己資本比率41.3%(前期36.3%)、ROE12.5%(前期14.2%)
成長戦略	積極的な出店・改装の実施	出店76店舗(内、イオン九州(株)35店舗)退店17店舗実施 期末店舗数869店舗、改装37店舗実施
	オムニチャネル化へ着手	タブレットによる客注システムを全店に導入
	PB商品の開発強化	PB比率は前期34.9%から37.3%へ
株主重視	配当政策	東証一部上場記念配当1円を加え 期末配当10円/株 を実施 中間配当9円、期末配当10円(修正前9円)、合計19円(〃18円)、配当性向28.3%(前期16.4%)
	株式分割の実施(1株→2株) 株主優待制度の一部変更	8月1日より株式2分割、株式分割実施後も100株以上保有の株主さまに株主優待券を贈呈
	企業価値の向上へ	11月10日に東京証券取引所市場第一部へ新規上場 期末株式時価総額330億90百万円、前期末251億791百万円

■暖冬影響で婦人靴・子供靴が苦戦

■スポーツ靴は売上が伸長

2015年度 売上 前年比	婦人靴	紳士靴	スポーツ 靴	運動靴・ 子供靴	その他
	94.9%	100.8%	107.5%	100.0%	97.2%



*2013年2月期は変則の13カ月決算の為、12カ月決算数値を記載

商品取り組みの実績

- 既存ブランドのリニューアルや更なる付加価値商品の開発を推進
- ブランディングを強化し、PB比率の更なる向上を推進
- ナショナルブランド協業で、合同販促、独占モデル等の取組み強化

履き心地とデザイン性の両面を追及した商品開発

大人のオシャレは、キレイもラクもあきらめない。
らくらくビューティー
やさしい履き心地、その秘密。

どうしてラクなの？

- 1 3層構造の高素材クッション
- 2 軽い素材で、足にやさしい
- 3 独自の中底が叶える驚きの柔軟性

LADIES FIRST
100
YEARS OF
Keds
SINCE 1916

MAD Madfool!

15th Anniversary

ここと歩行にやさしいオシャレ 健康得点

歩きやすい靴 Men's

幅広EEEE
日本人の足型に合わせたEEEEのゆったり設計です。

超軽量
この履きは片足210g以下(29.5cm)の超軽量設計です。

滑りにくい底
この商品は特殊に滑りにくい素材を採用しています。

ふわふわクッション
厚みがあって柔らかいふわふわクッションが中敷を保護。

履き口が大きく開く
フラスターマジックテープで、履き口が大きく開き、履脱が楽になります。

PRO-Keds

ASBee 限定商品 **new balance** **ASBee 限定商品**

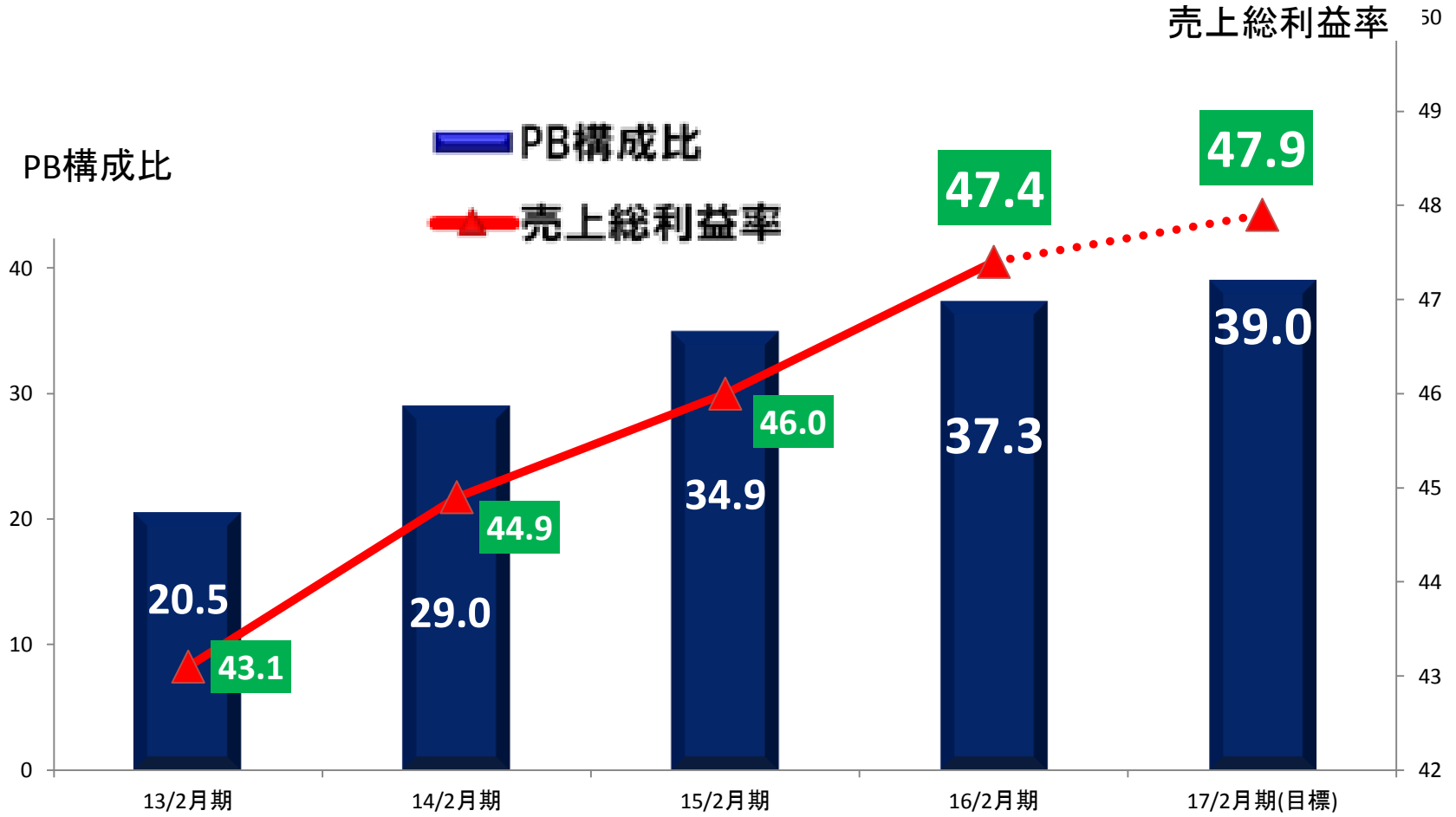
新聞掲載商品

FLEX ABILITY
自由自在

GO-FLEX Walk

PB商品の実績

■PB構成比は今期37.3%(前年比2.4%増)
 ■売上総利益率は今期47.4%(前年比1.4%増)

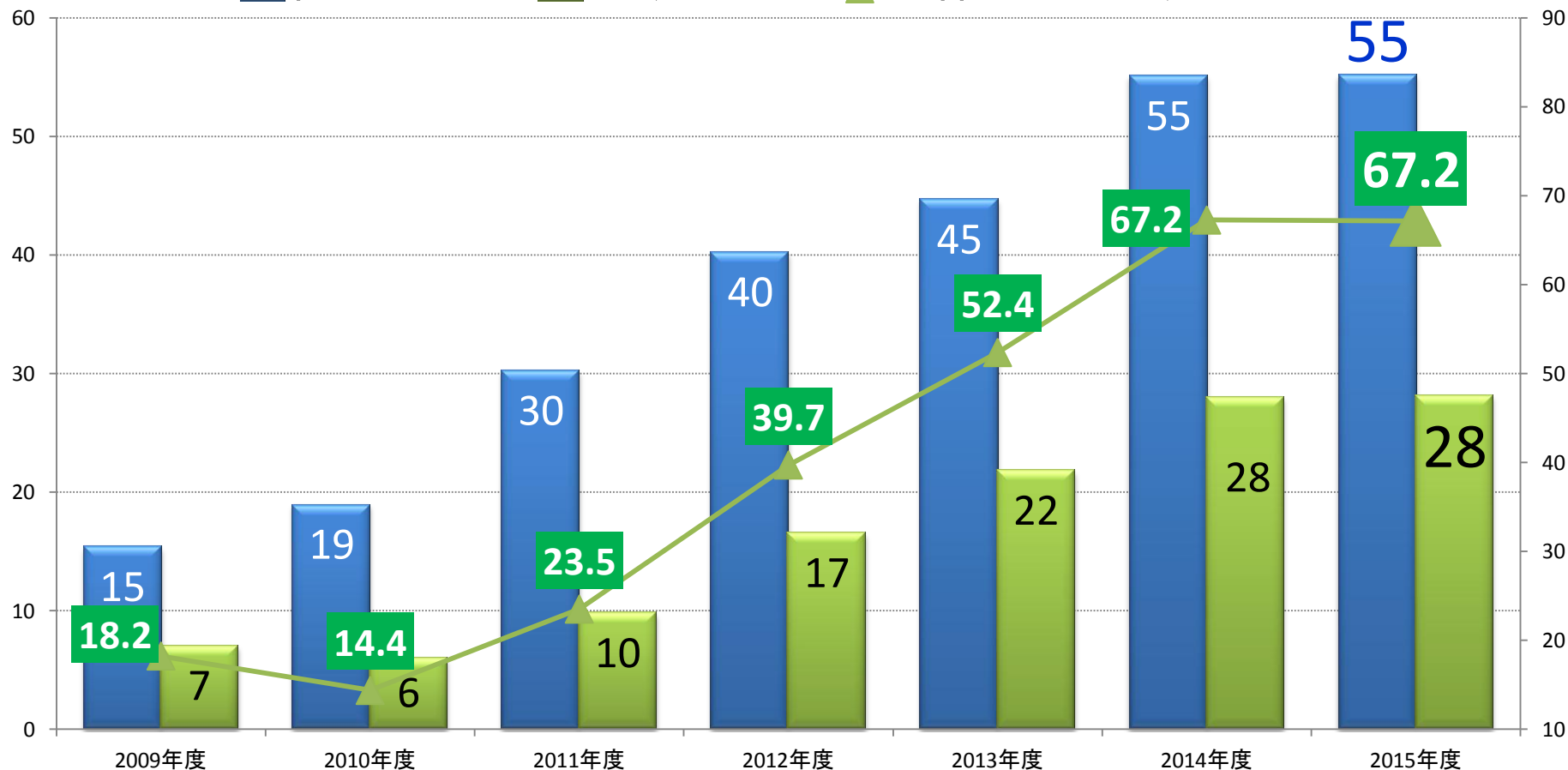


■ 営業利益は7期連続増益 ■ 当期純利益は5期連続増益

営業利益/
当期利益(億円)

単位: 億円

■ 営業利益 ■ 当期利益 ▲ 一株当たり当期利益



- 有利子負債は前期比34億40百万円減少
- ROE12.5%(前期14.2%) ■自己資本比率41.3%(前期36.3%)
- 営業キャッシュフローは50億34百万円の収入72億37百万円の改善

貸借対照表

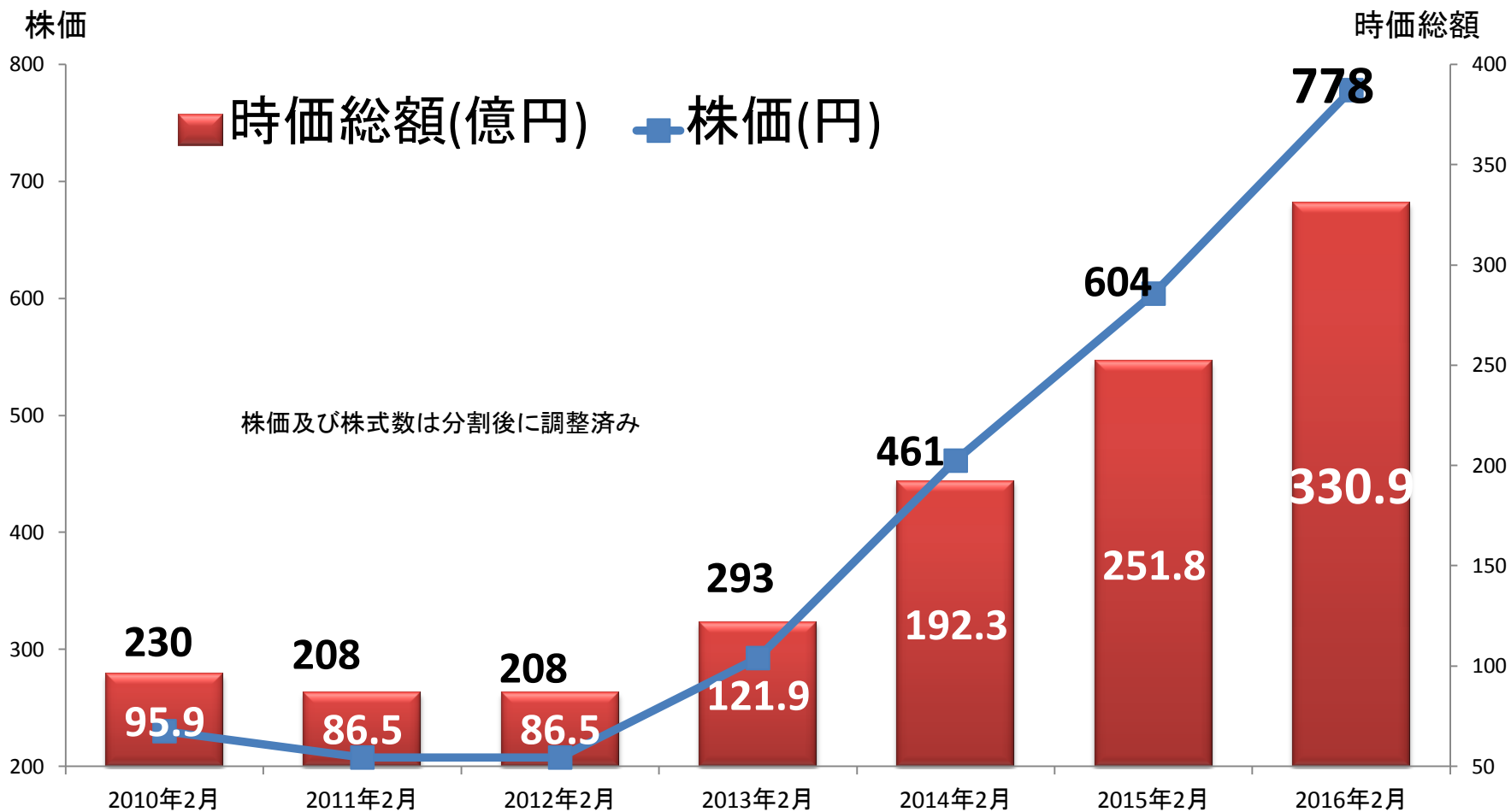
単位:百万円

	16/2月期	期首差
流動資産	43,378	264
商品	36,661	2,485
預け金	2,497	△1,646
固定資産	14,868	△24
資産合計	58,246	239
流動負債	32,636	△1,955
固定負債	1,553	△802
純資産	24,056	2,997
負債・純資産合計	58,246	239

キャッシュフロー計算書

単位:百万円

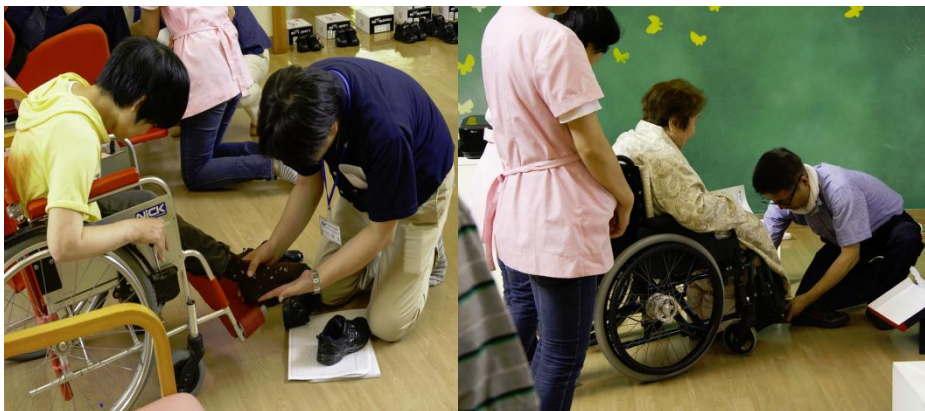
	16/2月期	前年差
営業活動による キャッシュフロー	5,034	7,237
投資活動による キャッシュフロー	△2,055	△970
財務活動による キャッシュフロー	△3,219	△6,305
現金及び現金同 等物の増減額	△241	△38
現金及び現金同 等物の期首残高	2,358	△202
現金及び現金同 等物の期末残高	2,117	△241



	2010年2月	2011年2月	2012年2月	2013年2月	2014年2月	2015年2月	2016年2月
株価(円)	230	208	208	293	461	604	778
時価総額(億円)	95.9	86.5	86.5	121.9	192.3	251.8	330.9

社会貢献活動

「学校法人 ねむの木学園」の生徒の皆さまへ足型計測を実施し、シューズ寄贈



リサイクル活動

全国の店舗で靴の下取りを実施し、2015年度実績 94万足、659トン回収



植樹活動

プノンペン(カンボジア)での植樹活動風景



2017年/2月期 重点取組み事項

商品の改革

1. マーケット変化に対応した
戦略的カテゴリーの強化

(1) 婦人・子供の優位性の確保
(2) スポーツ拡大による客数の増大

収益の向上

2. (1) PBの商品企画力の改善
(2) NBメーカーとの戦略的取り組み強化

荒利率の持続的な改善

売場の改革

1. (1) オムニチャネル化の推進
(2) EC比率の向上

店舗サービスレベルの向上
固定客化の推進

2. (1) 「価値ある価格」「機能価値の強化」の商品提案の強化
(2) 商品企画催事の拡大

客数の拡大

3. 4シフトに対応した
(1) 立地業態の進化
(2) 新規業態開発

出店機会の拡大

人の改革

ダイバーシティ経営の推進での全員総活躍する風土の確立

生産性の向上
人材の確保/育成

コストの改革

1. 生産性の向上とコスト配分の見直し
2. 商品在庫の適正化

ローコスト体質への転換

◆マーケット変化に対応した戦略的カテゴリーの強化

■強みの再強化（婦人靴、子供靴）

■市場変化への対応（スポーツシューズ）

品目 (カテゴリー)	社会的背景	伸率
婦人パンプス	働く女性に向けたオフィスおよび通勤パンプス市場拡大	130%
婦人カジュアル	シニア市場の拡大、ヘルス&ウェルネス市場拡大	120%
NBスポーツ	オリンピック、カジュアル化傾向、	130%
スポーツシューズ (コンフォート)	ヘルス&ウェルネス市場拡大 ウォーキング、ジョギング、ウォーキングシューズ拡大	125%
子供靴 (チャイルド)	子供一人当たりにかかる消費支出の拡大による高単価(NB)商品の拡大	130%
婦人サンダル	ホワイトソール、フットベット、スポーツサンダル、ギリ	110%
シーズン商品	臨機応変に仕入を実施	90%
合計		

◆ (1) オムニチャネル化の推進 (2) EC化率の向上

固定客作り スマホアプリ
「G-FOOT NAVI」(仮)の導入



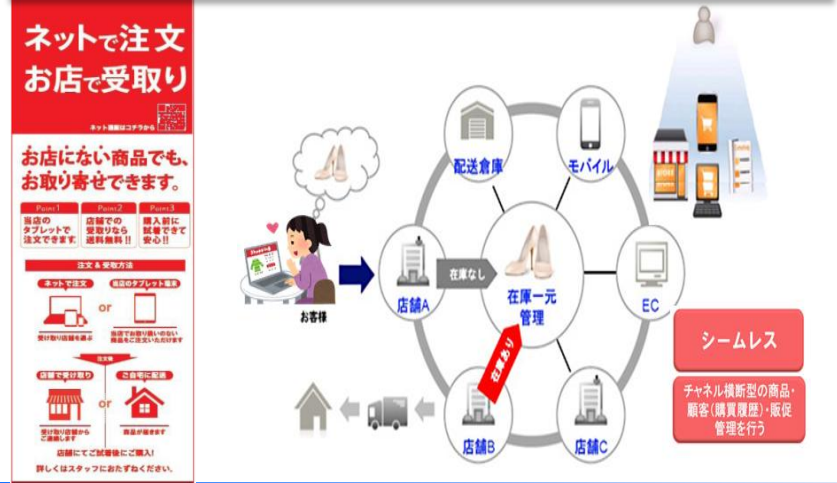
客注の強化
KIOSK端末の導入、タブレットを使った接客



固定客作り SNSの活用
Feminine Café インスタグラムスタート



オムニチャネル化の促進
(客注システムの強化)



◆立地別業態の進化

Shoes
Greenbox



- ・婦人靴、子供靴の強化
- ・キッズ売場の強化策として「クツラ」の出店
- ・ヘルス&ウェルネス売場強化(スポーツ)

ASBee fam.

- ・ラインロビングの拡大

ASBee KIDS

- ・積極的出店による業界No.1への挑戦

Feminine Café

- ・年代層別立地別品揃えの実現

ASBee ASBee



- ・本来の強みであるスポーツ、紳士靴の戦略的強化
- ・都市型フォーマットモデルの活性化

◆新規業態開発

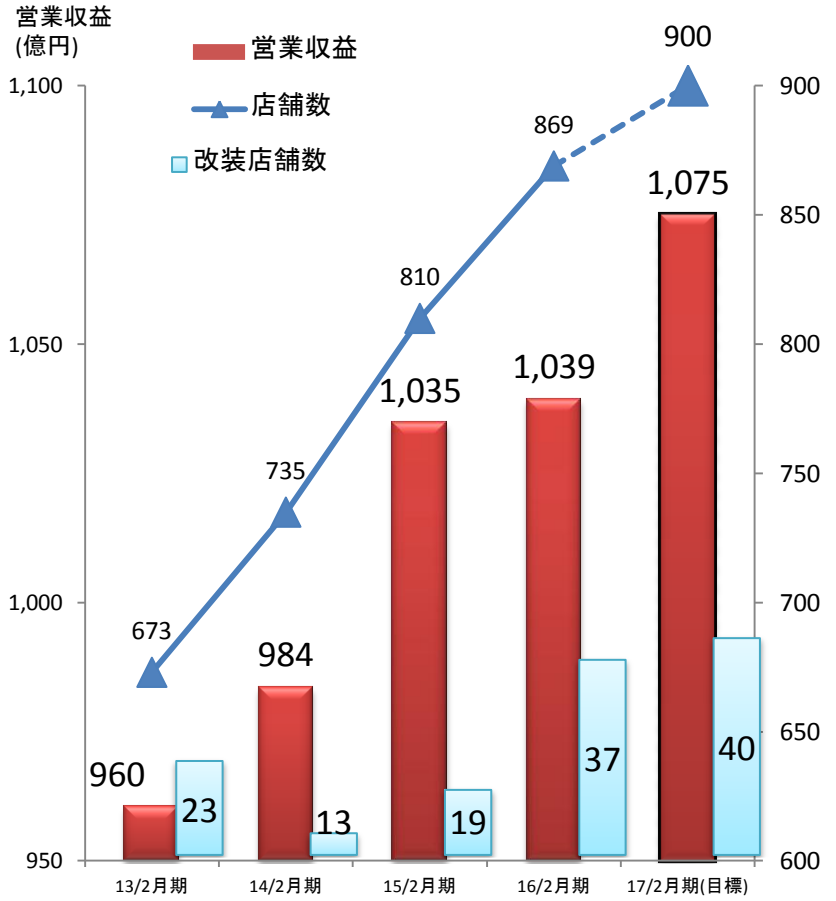
スケッチャーズ[®]ショップ
10店舗計画



Kutsura 70店舗計画
匠コーナー 57店舗計画



■出店900店舗の達成

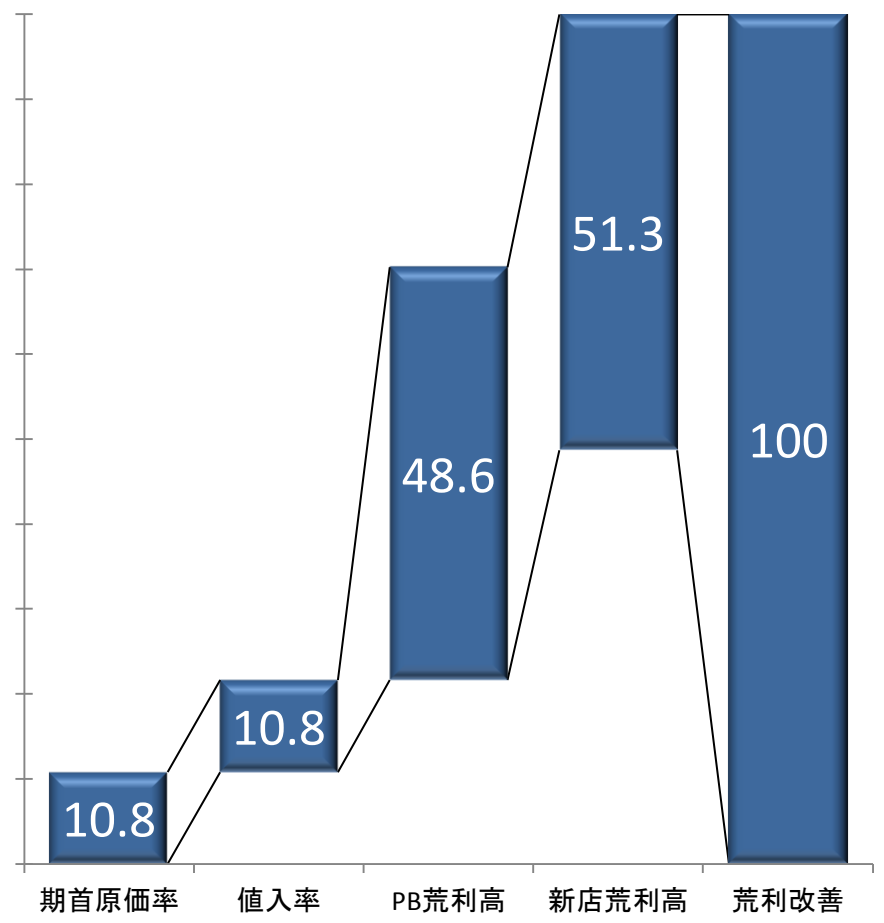


	13/2月期	14/2月期	15/2月期	16/2月期	17/2月期(目標)
店舗数	673	735	810	869	900
改装店舗数	23	13	19	37	40
営業収益	960	984	1,035	1,039	1,075

■荒利高前年改善の構造

各要素が荒利改善に果たす構成比

単位: %



■営業収益1,075億円、営業利益60億円、増収増益を計画 単位:百万円

	中間	前年比	年間	前年比
営業収益	55,700	103.6%	107,500	103.4%
営業利益	3,250	101.7%	6,000	108.8%
経常利益	3,200	100.2%	5,950	108.7%
当期純利益	1,750	104.3%	3,100	110.1%
1株当たり当期純利益	41.16円/株	0.88円増	72.91円/株	5.74円増

■年間20円の配当予想、増配予定（配当性向27.4%）

予想	中間	期末	年間
1株当たり配当金(円)	10円/株	10円/株	20円/株
2016年2月期実績	9円/株	10円/株	19円/株

本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。